

2026 年 7 月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済には弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2026 年 7 月 29 日公表）において、「景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある」との表現が維持された。

以下では、「全国の情勢」、「和歌山県の情勢」を主要経済指標（主に 6 月の値）に基づき報告する。

全国の情勢

- ① 需要動向に関して、「個人消費」「輸出」「輸入」「設備投資」「公共投資」「住宅建設」に関する判断がそれぞれ維持された。
- ② 企業活動に関して、「生産」「業況判断」「企業収益」「倒産件数」に関する判断がそれぞれ維持された。
- ③ 雇用情勢に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。
- ④ 物価に関して、「国内企業物価」「消費者物価」に関する判断がそれぞれ維持された。
- ⑤ 世界経済に関しては、「世界の景気は、一部の地域において弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しが続いている。ただし、中東情勢を始め世界経済の不透明感が高まっている」との表現が維持された。

和歌山県の情勢

① 個人消費面では、**百貨店・スーパー販売額（6 月）**は、前年同月比 2.2%減となった。近鉄百貨店和歌山店の販売額（6 月）は、前年同月比 0.5%増となっており、2 か月ぶりに前年を上回った。和歌山市内の消費者物価指数を見ると、生鮮食品を除く食料品価格は上昇率が鈍化する一方で、依然として高い水準にあり、家計の節約志向は強まっているものと考えられる。

新車販売台数（軽自動車[乗用]含む、6 月）は、前年同月比 12.3%増となり、3 か月連続で前年を上回った。内訳を見ると、登録車、軽乗用車ともに前年を上回っている。自動車税及び軽自動車税の環境性能割が 2026 年 3 月 31 日をもって廃止され、4 月以降の購入時負担が軽減されたことで、需要を下支えした可能性がある。

新設住宅着工戸数（6 月）は、前年同月比 3.9%増となり、3 か月連続で前年を上回った。内閣府「月例経済報告」によると、住宅建設は「弱含んで」おり、「持家」及び「分譲住宅」が弱含んでいる。背景には、建築コストの上昇や住宅ローン金利の上昇に伴う購入意欲の低下などがあるものと考えられる。

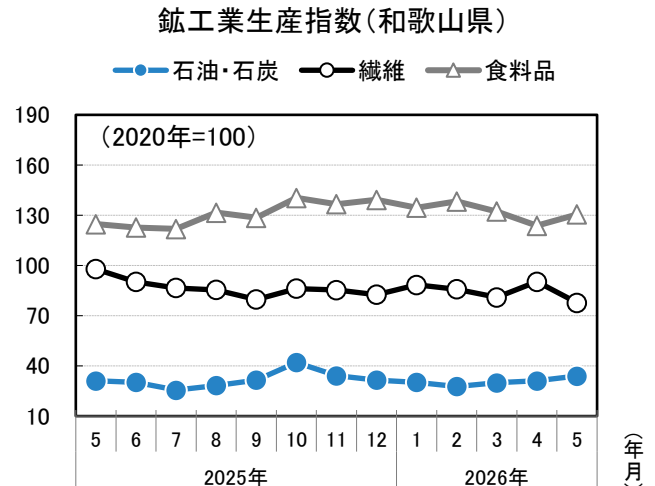
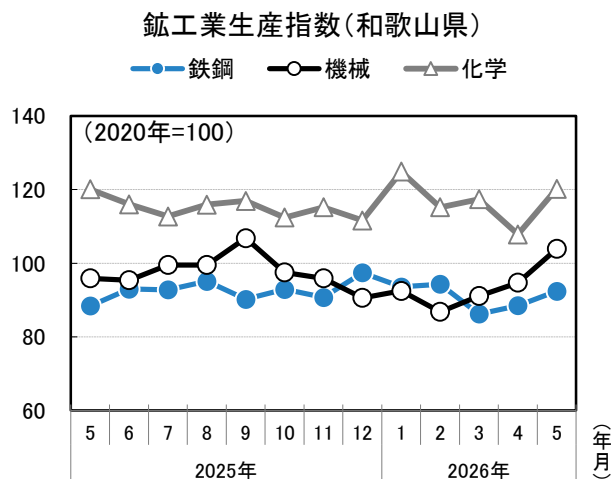
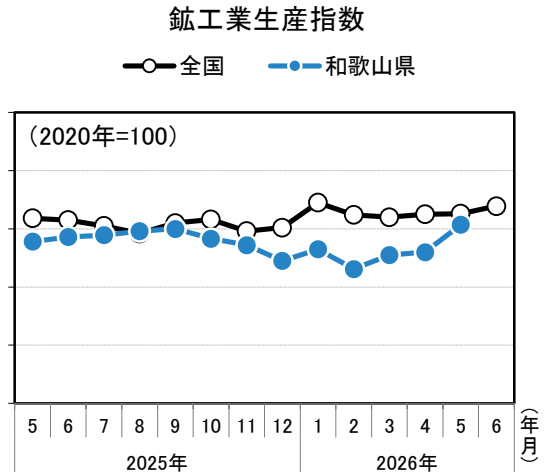
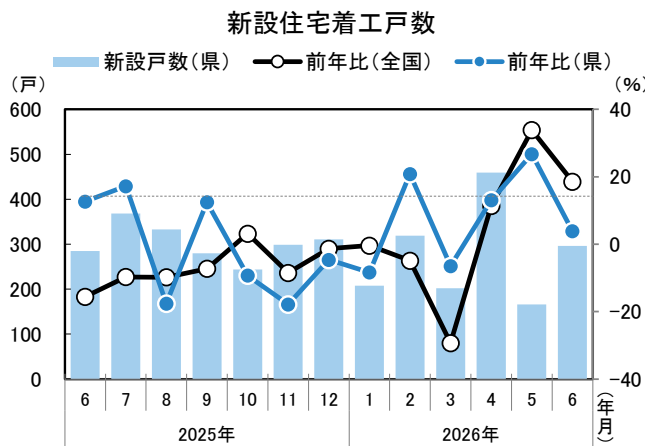
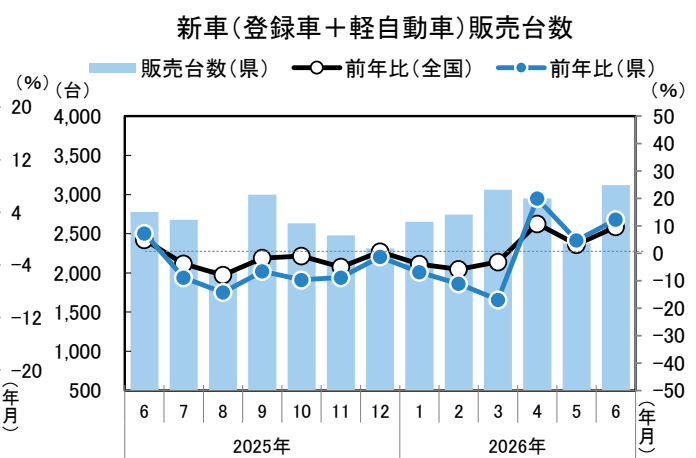
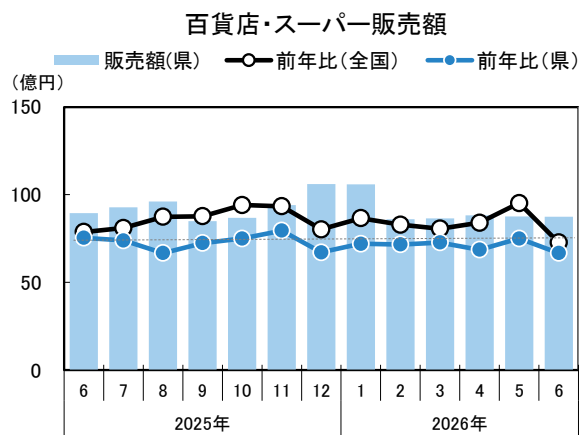
② 企業活動面では、**鉱工業生産指数（5 月）**は、100.7 となっており、前月から 4.7 ポイント上昇した（上昇は 3 か月連続）。業種別では、はん用機械工業が前月比 10.8 ポイント、化学工業が同 11.5 ポイント上昇となり、この 2 業種が全体の上昇をけん引した。鉄鋼・非鉄金属工業が同 4.1 ポイント、食料品工業も同 5.5 ポイント上昇した。

一方、金属製品工業（同 18.1 ポイント下降）など、低下した業種もみられる。このため、県内の生産活動は全体として持ち直しているものの、回復は一部の主要業種に支えられた面が大きい。

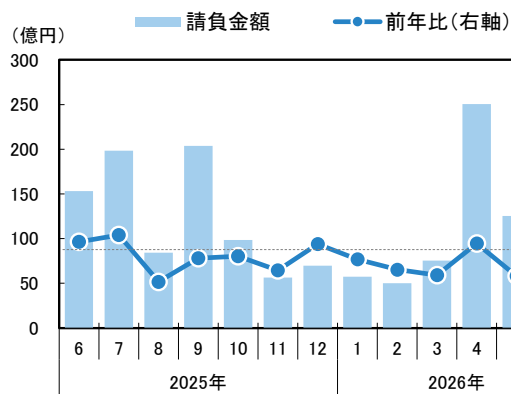
公共工事請負金額（6月）は、前年同月比 8.8%増となった。4月～6月累計での公共工事請負金額は、前年同期比 3.9%減となっている。内閣府「月例経済報告」によると、公共投資は「堅調に推移している」としているが、県内では今後の大型工事の発注状況や資材価格、人手不足の影響を注視する必要がある。

帝国データバンクが発表している県内 TDB 景気 DI（6月）は、37.7 と前月から 1.0 ポイント上昇した。業界別では、製造、卸売、運輸・倉庫などで改善がみられた一方、建設やサービスでは悪化した。幅広い業界で一様に景況感が改善しているわけではなく、企業規模や業種による差が残っている。

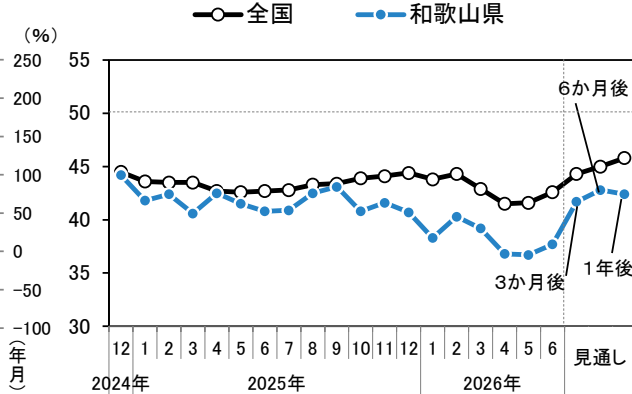
③ 雇用面については、有効求人倍率（6月）は、前月から 0.02 ポイント低下し、0.94 倍となっている。求人が求職者数を下回る状況が続いている。新規求人数は 5,011 人となり、前年同月比 8.3%減と、9か月連続で前年を下回った。産業別では、建設業やサービス業で増加した一方、医療・福祉、運輸・郵便業、宿泊・飲食サービス業、生活関連サービス・娯楽業などで新規求人数が減少した。和歌山労働局は県内の雇用情勢について、「持ち直しの動きに弱さがみられ、一部には厳しさが見られる」と判断している。



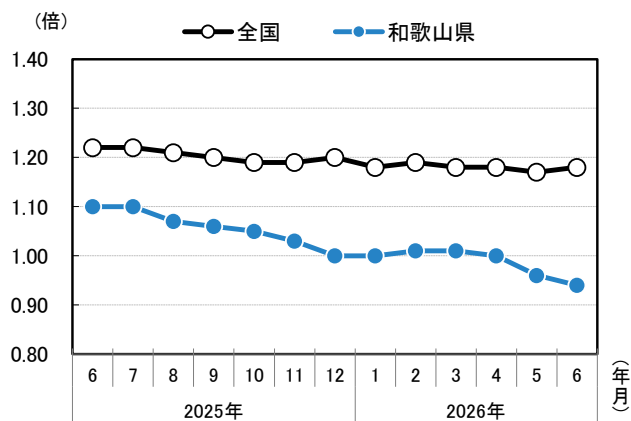
公共工事請負金額(和歌山県)



TDB景気DI(判断の分れ目は50)



有効求人倍率



(1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	-0.3	30,549	-7.0	-5.8	4,758	0.4	3.6
2023年	1,106	4.6	1.5	20,583	18.4	19.0	3,958	-4.6	-16.8
2024年	1,107	3.6	0.1	19,231	-5.6	-6.6	3,800	-3.3	-4.0
2025年5月	87.6	1.8	0.6	2,269	3.1	0.6	131	-34.4	-73.2
6月	89.5	1.0	0.1	2,779	5.0	7.3	285	-15.6	12.6
7月	92.8	1.6	-0.3	2,679	-3.8	-8.9	368	-9.7	17.2
8月	96.1	3.3	-2.2	2,049	-7.9	-14.3	333	-9.8	-17.6
9月	84.9	3.4	-0.7	2,999	-1.7	-6.6	280	-7.3	12.4
10月	86.9	5.1	0.0	2,634	-1.0	-9.6	244	3.2	-9.3
11月	94.0	4.9	1.2	2,478	-5.0	-8.8	299	-8.5	-17.9
12月	106.1	1.4	-2.1	2,312	0.6	-1.3	311	-1.3	-4.6
2026年1月	105.8	3.1	-0.8	2,651	-3.9	-6.9	208	-0.4	-8.4
2月	86.0	2.1	-0.9	2,745	-5.8	-11.1	319	-4.9	20.8
3月	86.5	1.5	-0.6	3,062	-3.1	-17.0	202	-29.3	-6.5
4月	88.2	2.4	-1.7	2,949	10.8	20.0	459	11.4	13.1
5月	87.7	5.4	0.0	2,376	3.2	4.7	166	33.9	26.7
6月	87.5	-0.6	-2.2	3,121	9.7	12.3	296	18.6	3.9

(2026年7月31日に取得可能な資料より作成)

(2)企業活動面

	鉱工業生産指数(2020年=100)								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2020年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.5	100.0	1,847.2	16.5	
2021年	105.4	97.6	93.8	97.0	97.0	87.7	96.3	118.0	1,806.3	-2.2	
2022年	105.3	103.8	100.2	106.6	101.8	122.2	100.0	120.3	1,584.1	-12.3	
2023年	103.9	97.9	93.0	97.9	104.7	102.7	99.8	117.1	1,711.6	8.0	
2024年	101.2	96.5	86.0	95.1	112.2	44.3	92.7	127.0	1,625.7	-5.0	
2025年5月	101.8	97.8	88.4	95.9	120.1	31.0	97.8	124.7	184.3	-6.0	41.5
6月	101.5	98.6	93.0	95.4	116.0	30.2	90.2	122.7	153.1	12.6	40.8
7月	100.5	98.9	92.8	99.5	112.7	25.5	86.6	121.8	198.3	21.4	40.9
8月	99.2	99.6	95.1	99.5	115.9	28.3	85.4	131.6	84.4	-39.5	42.5
9月	101.0	100.0	90.2	106.8	116.9	31.5	79.7	128.5	203.7	-8.7	43.1
10月	101.6	98.3	92.9	97.5	112.4	42.0	86.2	140.4	98.4	-6.2	40.8
11月	99.6	97.2	90.7	95.9	115.2	34.1	85.3	136.6	56.3	-24.6	41.6
12月	100.2	94.5	97.4	90.6	111.6	31.5	82.5	139.2	69.9	9.6	40.7
2026年1月	104.5	96.5	93.6	92.5	124.9	30.2	88.4	134.5	57.3	-10.3	38.3
2月	102.4	93.1	94.3	86.8	115.2	27.7	85.8	138.3	50.1	-23.8	40.3
3月	102.0	95.5	86.2	91.1	117.4	29.9	80.9	132.2	75.5	-30.9	39.2
4月	102.5	96.0	88.5	94.7	107.8	31.0	90.3	123.7	250.5	10.4	36.8
5月	102.6	100.7	92.4	103.9	120.2	33.9	77.7	130.5	125.3	-32.0	36.7
6月	103.9								166.5	8.8	37.7

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2026年7月31日に取得可能な資料より作成)

(3)雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,874	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,976	14,775	14.8	16.8
2023年	1.31	1.13	16,339	14,407	14.7	17.2
2024年	1.25	1.13	16,427	14,570	13.9	17.3
2025年5月	1.23	1.13	16,324	14,412	12.0	20.9
6月	1.22	1.10	16,106	14,589	15.6	19.5
7月	1.22	1.10	16,037	14,572	12.3	19.2
8月	1.21	1.07	15,802	14,747	12.9	16.4
9月	1.20	1.06	15,683	14,747	12.8	18.0
10月	1.19	1.05	15,461	14,761	14.0	18.7
11月	1.19	1.03	15,357	14,960	10.8	18.3
12月	1.20	1.00	15,201	15,195	12.3	17.3
2026年1月	1.18	1.00	15,509	15,557	11.2	13.9
2月	1.19	1.01	15,372	15,215	12.5	20.2
3月	1.18	1.01	15,113	14,968	17.4	28.2
4月	1.18	1.00	14,912	14,871	14.2	23.2
5月	1.17	0.96	14,479	15,154	14.9	22.4
6月	1.18	0.94	14,315	15,222	13.4	23.0

(2026年7月31日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。